

■ 主な仕様

型名	FP-Z5000	
DLPチップ	サイズ	0.65型 アスペクト比16:9
	表示方式	1チップDLP方式
	画素数	2,073,600画素(1920×1080)
レンズ	タイプ	屈曲型二軸回転機構レンズ
	レンズシフト	電動: V±82% H±35%
	ズーム	電動: x1.0~x1.1
	フォーカス	電動
	投写比[TR値 ¹]	0.34(ワイド側)~0.37(テレ側)
	焦点距離	f=5.0mm(ワイド側)~5.5mm(テレ側)
Fナンバー	F2.4(ワイド側)~F2.49(テレ側)	
光源	レーザーダイオード	
明るさ	5,000lm	
コントラスト比	12,000:1	
投写画像サイズ	70型~300型 約0.5m~2.3m	
音声出力	10W×1	
走査周波数	水平	15k~102kHz
	垂直	23~120Hz
最大表示解像度(横×縦)	1920×1080	
入出力端子	HDMI	3系統
	HDBaseT/LAN	1系統 RJ-45
	USB(DC5V出力)	1系統 Type A
使用環境	動作温度	0~40°C(ただし、結露しないこと)
	保存温度	-10~50°C(ただし、結露しないこと)
電源	AC100V~240V 50/60Hz	
最大消費電力	700W	
消費電力(スタンバイ時)	0.5W	
外形寸法	[幅]470mm×[奥行き]375mm×[高さ]108mm (レンズ収納時、突起部除く)	
質量	約12.5kg	
付属品	リモコン、単4型乾電池(2個)、レンズキャップ、 HDMIケーブル(1.8m)、電源ケーブル(3.0m)、 縦設置用スタンド(2個)、簡易説明書	

¹ TR(Throw Ratio スローレシオ)は投写距離/スクリーン横サイズを表した値です。

■ 接続インターフェース



■本製品はクラス1レーザー製品です。ビームを覗き込まないようご注意ください。■PLink商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。■HDBaseT、HDBaseT ロゴは、HDBaseT Alliance の日本国およびその他の国における商標です。■DLP、DLPロゴはテキサス・インスツルメンツの登録商標です。■HDMIは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標又は登録商標です。

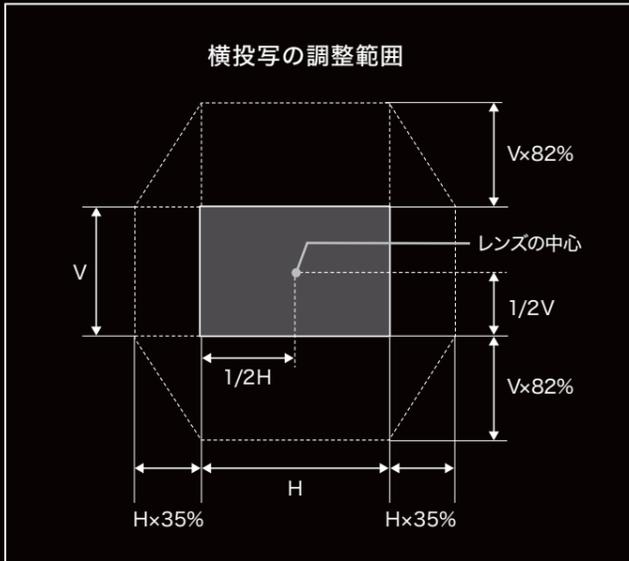
FUJIFILM 富士フイルム株式会社

光学・電子映像事業部 国内販売グループ
〒331-9624 埼玉県さいたま市北区植竹町1-324
お問合せ お問い合わせは、ウェブサイトよりお願いいたします。
<https://optics.fujifilm.com/projector/ja/support/>

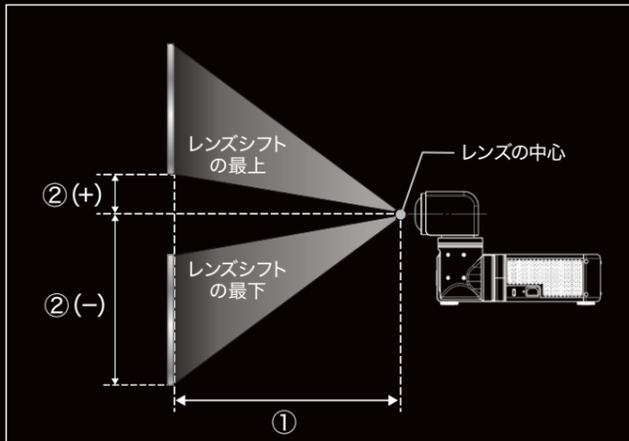


安全にご使用いただくため、取扱説明書に従い、正しくお取り扱いください。
※ 製品の仕様・外観および価格等は、予告なしに変更することがあります。
注意 ※ カタログ上での製品の外観色は、撮影・印刷条件により実製品と異なって見えます。

■ レンズシフト調整範囲



■ 投写距離



横投写距離表

サイズ(型)	16:9 スクリーン 幅×高さ(cm)	① 投写距離(cm) ワイド-テレ		② レンズシフト(cm) 最下-最上
		ワイド	テレ	
70	155 × 87	52 - 57	-115 - 28	
80	177 × 100	59 - 65	-131 - 32	
90	199 × 112	67 - 74	-148 - 36	
100	221 × 125	75 - 82	-164 - 40	
120	266 × 149	90 - 99	-197 - 48	
150	332 × 187	113 - 124	-247 - 60	
200	443 × 249	151 - 166	-329 - 80	
250	553 × 311	189 - 208	-411 - 100	
300	664 × 374	227 - 250	-493 - 120	

FUJIFILM
PROJECTOR

超短焦点・回転式・レンズシフト

自由自在



FP-Z5000

空間演出の可能性を広げるプロジェクター

主な特長

75cm*¹ 至近距離から100インチの投写が可能



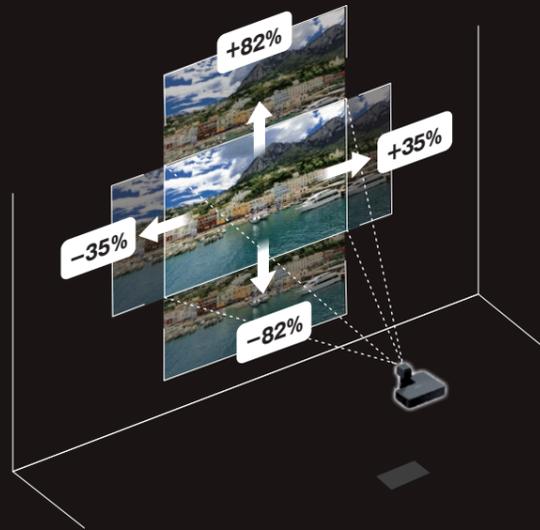
投写比TR*² 0.34の超短焦点レンズを搭載し、至近距離から最大300インチまでの投写が可能。プロジェクターから投写面までのスペースを削減できるため、プレゼンテーション・展示スペースを最大限に活用できます。

*1: レンズから投写面までの距離。

*2: TR(Throw Ratio) は投写距離/スクリーン横サイズを表した値。

超短焦点プロジェクターでクラス最大*³の広いレンズシフト範囲

大口径非球面レンズを活かし、クラス最大となるレンズシフト機能を実現。上下82%・左右35%の広いシフト範囲で投写画像の位置を調整可能(16:9横投写時)。さらに、投写方向ごとにレンズシフト位置をメモリする機能を搭載。レンズを回転させ投写方向を変えても、再度投写位置を調整し直す必要なく自動的にレンズシフトを行います。



*3: 2019年2月13日現在、当社調べ。高輝度超短焦点プロジェクターにおいて。

レンズの回転だけで、さまざまな方向に投写が可能

世界初*⁴ 屈曲型二軸回転機構レンズを採用。本体を動かさずにレンズを上・下・前・後・左・右に切り替え、さまざまな方向へ投写することが可能。壁やスクリーンのみならず、天井や床にも投写ができます。レンズの回転だけで、縦長映像を投写するポートレート投写も簡単に行えます。回転部にはロック機構も備えており、安心して回転操作ができます。

*4: 2019年2月13日現在、当社調べ。



世界初6方向投写、全22パターンのバリエーション

レンズが2軸方向で回転し、縦向きにも横向きにも設置可能。全22パターンの設置バリエーションを実現しました。さまざまなスペースに対応し、空間演出の可能性を十分に広がります。



Webで
投写シミュレーターと
デモ動画を掲載中



FP-Z5000の基本性能

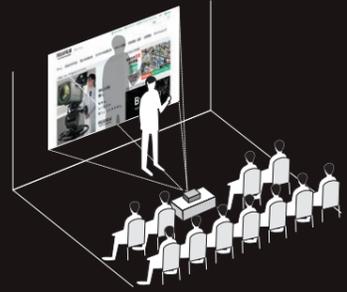
レーザー光源を搭載し、明るさは5000lm。1チップDLPの映像表示システムを採用し、フルHDの解像度を実現しています。デザインの革新性・機能性・耐久性等全9つの基準で評価され、世界的に権威のあるレッドドット・デザイン賞を受賞。さらに最高賞のベスト・オブ・ベストを獲得しました。



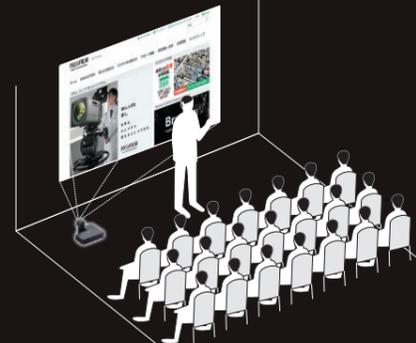
超短焦点・レンズ回転式・広範囲シフトのメリット

アクティブスペースの創出

従来のプロジェクター



FP-Z5000



限られた視聴スペース

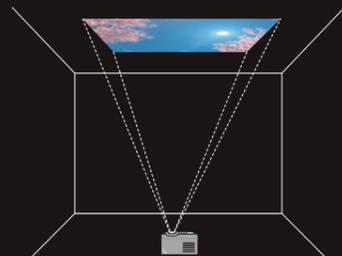
- ・プロジェクターはスクリーンの中心に設置し、さらに投写距離が必要
- ・プロジェクターを高さのある台の上に設置する必要がある
- ・プロジェクターとスクリーンの間に立つとプレゼンターの影が映る

視聴スペースの拡張

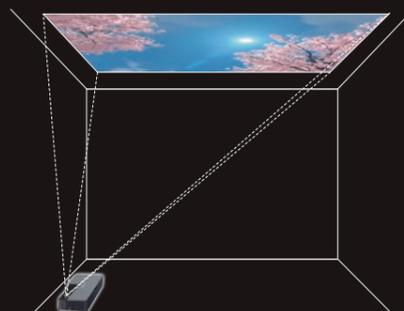
- ・プロジェクターをスクリーンの中心からずらして設置し、近距離から投写できる
- ・プロジェクターは床置きで投写できる
- ・スクリーンにプレゼンターの影が出にくく、画面の前でプレゼンができる

困難だった場所への設置

従来のプロジェクター



FP-Z5000



プロジェクター本体が目立つため 空間演出の妨げになる

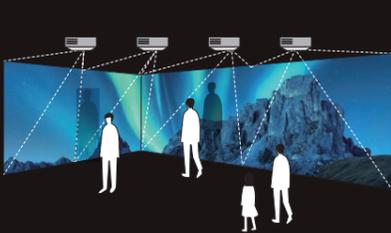
- ・プロジェクターを立て、部屋の中央に設置する必要がある
- ・天井が低い場合、スクリーンに大きく投写できない

スマートで妨げにならない空間演出

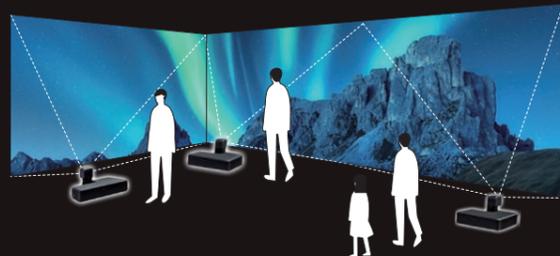
- ・レンズを回転させるだけで簡単に天井への投写が可能
- ・部屋の壁面付近に置くことができ、スペースを確保できる

大型投写の演出

従来のプロジェクター



FP-Z5000



大画面投写には多くのプロジェクターと 設置スペースが必要

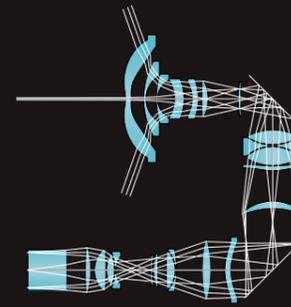
- ・大画面マルチ投写には相当数のプロジェクターが必要
- ・影になるためスクリーンに近づいて鑑賞することができない

高品質の大画面投写

- ・超短焦点レンズと広いレンズシフトで少ない台数で大画面投写が可能
- ・スクリーンに近づいても影が出ないため没入感のある鑑賞ができる

特長を支える富士フィルムの技術

当社独自の屈曲式レンズ



富士フィルム独自の屈曲式レンズを搭載。光を屈曲させ、像をつくるために集光させるには精度の高い光学設計が必要不可欠です。富士フィルムは独自の光学設計ソフトを開発し、4K・8Kなどの高精度レンズ設計をしています。このソフトウェアを活用し、数十枚のレンズを組み合わせることで、レンズを全6方向どこに回転させても歪みなく、隅々まで高画質に映し出すレンズを実現しています。

大口径非球面レンズ



G1レンズ(先端のレンズ)には大口径非球面レンズを採用。複雑で大きな非球面レンズを製造するには、成型・加工等、非常に高度な技術を要します。Φ87mmの大口径非球面レンズを、面精度シングルμm以下の超高精度を達成することで、超短焦点の大画面投写を可能にしています。

精緻なメカ設計



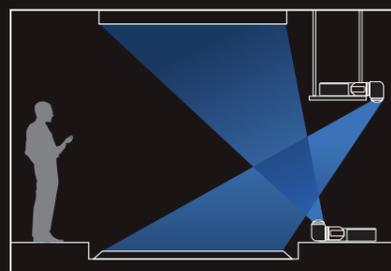
富士フィルムがこれまで約30年をかけて蓄積してきたプロジェクター用レンズの機構設計技術により、2軸で6方向に回転しても高い解像性能を維持するレンズ鏡筒機構を実現。温度・強度シミュレーション技術を駆使して、プロジェクター内部の構造を最適化することにより、厚さ108mmというコンパクトボディを実現しています。

高精度な光軸調整工程



広範囲なレンズシフト投写で、歪みなく高解像度を保つには高精度な光軸調整が必須。富士フィルムが培ってきた高度なレンズ技術を応用し、複数の調整を最適に組み合わせることで、高品質な映像をお届けします。

事例 - 天井・床投写



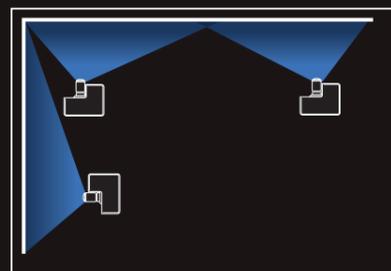
春の青空と広大な池 庭園をイメージしたエントランス演出

天吊り・床に1台ずつ設置し、天面と床に2台同時に投写。広く、歪みなく映し出された水面の映像は顧客の目を引くリアルな池を表現し、天井には色再現性の高い青空と鮮やかな桜を映し出すことで没入感の高い演出が可能となっています。広いレンズシフト量により人が光を遮ることもなく、プロジェクター本体の存在を感じさせない空間が創出されています。

各事例の実際の演出動画はこちら



事例 - 超ワイド画面投写



富士山と紅葉による秋の行楽 アミューズメント空間演出

3台を床に平置きで設置し、横型投写の3画面を連結させ計450インチ大迫力空間を演出。隅々まで歪みなく解像度を落とさず投写できるため、連結時のブレンディング処理を容易に行うことができます。さらに、超短焦点投写と広範囲シフトによってアクティブスペースを最大化できます。鑑賞者にとって違和感がなくリアルに映し出された映像により、まるで家族で行楽に来たような迫力ある感動を創り出すことができます。

各事例の実際の演出動画はこちら

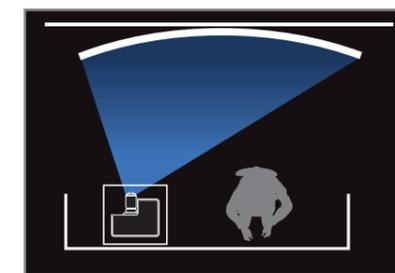


事例 - アーチ型プロジェクションマッピング



2019年夏発売予定
ホワイトカラーも
ラインアップ!

美術館・博物館等、白を基調とした空間にも
マッチするホワイトカラーも選択可能



カウンターインフォメーション ホテルエントランスを立体表現で演出

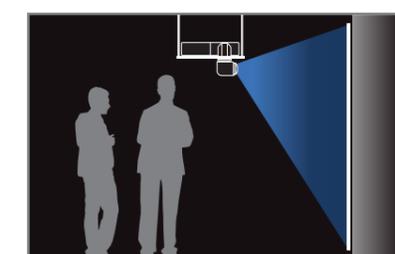
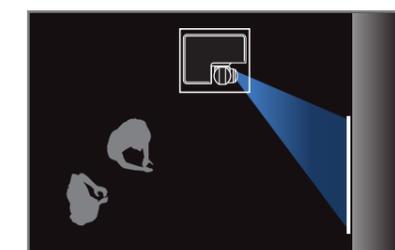
ホテルの受付デスク内にプロジェクターを設置し、ゲストの第一印象を決めるエントランス空間を華やかにデザイン。超短焦点投写・広いシフト機能・薄型ボディにより、ゲストの目につかない設置を可能としています。湾曲した壁面[®]などにも大画面投写できます。

※湾曲したスクリーンに適した映像を投写する必要があります。

各事例の実際の演出動画はこちら



事例 - ポートレート投写



ポートレート・ディスプレイアート ギャラリーを印象的空間に演出

プロジェクター1台を天吊りで設置し、約90インチの縦型投写でアート空間をデザイン。超短焦点投写により狭い空間でも大きく投写することが可能な上、広範囲シフト機能を活かすことでスクリーンに対して設置位置を大きくずらして投写することができます。鑑賞者が映像に近付いても光を遮って影ができることなく、近くで作品をご覧いただくことができます。

各事例の実際の演出動画はこちら

